

震災孤児・遺児1698人、養護施設入所はわずか2人親を亡くした子どもたちはどう過ごしているのでしょうか・・・？  
東日本大震災の発生から2年が過ぎ、「震災遺児、孤児の問題」は、大きな被災地問題として、考えなければならない問題です。

震災孤児・遺児はこのような数になっています。

	岩手県	宮城県	福島県	合計
震災孤児	126人	93人	21人	240人
震災遺児	476人	712人	139人	1327人
合計	569人	838人	160人	1567人

※震災孤児・遺児数の地域別内訳はとくに被害の大きかった東北三県で9割以上を占めています

震災孤児とは両親とも死亡ないしはひとり親家庭の場合は片親が死亡した児童のこと。震災遺児とは両親のどちらかが死亡した児童のことである。いったい、全県での1698人の震災孤児と遺児は、どこで、どう過ごしていたのでしょうか。